

東京桑野会会報

●2010年4月1日発行●発行・編集人 古川清●発行所 東京桑野会事務局 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-3-8 YKB新宿御苑804



No.32

黄色に染まる旧福島尋常中学校本館
画：梅田秀男（73期、元学校長）



ご挨拶

東京桑野会会長
古川 清

- ①桑野の母校に学んだという共通の経験に結ばれた同窓の親睦の会であること
- ②会員はみんな仲良く相親しみ楽しい会であること
- ③何らかの意味で会員の頼りになるような面もある会であること

NHKのスペシャルドラマ「坂の上の雲」で母校の旧校舎が共立英語学校や海軍兵学校の食堂として登場、懐かしく思われた方も多かったと思う。また本年の大河ドラマは「坂本龍馬」である。この二つのドラマは期せずして近代日本が当面した二つの危機に焦点を当てている。一つは徳川幕府の崩壊、一つは強国ロシアの南下政策の危機である。何れの危機もまかり間違えば日本は滅び列強の支配下に置かれていたかもしれない重大性をはらんでいた。幸い日本はこの危機を見事に乗り越えアジアの指導的国家となり「坂の上の雲」を目指して上昇して行くこととなった。

さて現在日本は新たなる危機の中にあると言える。今回は世界第二の経済大国となった日本が、坂を転げ落ちてゆく危機である。経済成長の鈍化、人口減少、モラルの退廃、教育の荒廃などなど気になるデータは山程ある。

われわれは何としてでもこの危機を乗り越えなければならぬと思う。日本再生の最大の鍵は、日本が考え得る最大の資産、即ち世界的視野を持った人材の育成にある。一世紀も前、日露戦争に勝って驕り高ぶった日本を諫めた第4期生 朝河貫一的人物の輩出が望まれる次第である。安積の後輩達に期待したいと思う。

東京桑野会定期総会開催のお知らせ

東京桑野会のメインイベントである、定期総会と懇親会を次の通り開催いたします。多数の同窓会員の皆様が参加されますようにご案内申し上げます。

- 期 日 2010年(平成22年)6月1日(火)
- 時 間 午後5時 — 受付開始
午後6時 — 総会
午後6時30分 — 懇親会
- 議 題 1. 会務報告の件
2. 予算決算の件
3. その他
- 場 所 目白 椿山荘
東京都文京区関口2-10-8
(TEL 03-3943-1111)
JR目白駅、地下鉄有楽町線江戸川橋駅下車
- 会 費 懇親会費 8,000円
(学生は年度会費込み 3,000円)
2010年度東京桑野会会費 2,000円

東京桑野会は会員皆様の年度会費によって運営されています。

総会当日にご出席出来ない会員の皆様には、同封の振込用紙で年度会費2,000円のお振込みのご協力をお願い申し上げます。

◇準備の都合もごございますので、出欠の返事は同封の葉書で5月21日(金)迄にご返送下さいますようお願い申し上げます。

事務処理の都合上葉書には必ず住所、氏名、期を記入して下さい。

◇また、連絡もれもあるかと思われますので、先輩、同期、後輩もお誘い合わせのうえ、多数の出席をお願いいたします。

◇昨年度は、2009年6月12日に開催され、138名の参加があり盛況でした。

母校便り

☆母校は創立125周年を迎えました。125周年の紫旗祭(学校祭)は、「千紫万光-燃えよ安積の千紫たち 放て明日に栄光を」をテーマに開催されました。千紫万光とは、「千紫万紅(色とりどりの花が咲き乱れるさま、ないし様々な色彩)」に懸けたもので、「安高生各々(千紫)が未来へ明るく力強い希望の光を放つ(万光)」との意味が込められているとのこと。後輩たちのセンスに乾杯ですね!。では、名物の「仮装行列」は?。もちろん今年も健在でした。昭和23年(1948年)が第一回の仮装行列、学校祭りの年は「地域は期待している」。今回も期待に応えたものであったとのこと。

☆部活動では、後輩たちの活躍が今年も光りました。インターハイでは、ソフトテニス女子個人(ペア)で全国大会に出場しました。文化部では、将棋部(男子団体、女子個人)、囲碁同好会(女子団体)、写真部(個人)、文芸部(詩部門団体、および百人一首:県メンバーの一人として)で全国大会に出場しました。また、放送委員会がNHK全国放送コンテスト創作TVドラマ部門に出品し優秀賞を受賞しました。

東北大会への出場は、陸上女子個人200m・400m、弓道男子個人、ラグビー部、水泳部(チーム、個人)でした。

人が、季節が、集います。

味

お食事

伝統の味に季節の彩りそえて

- 料亭・錦水内・れすとらん花車
- 石焼会席処・木春堂
- そば処・無茶庵
- フランス料理・カメリア

宴

ご宴会

華やかな集いに17の大小宴会場

- 2,000名様までのパーティー、国際会議、ファッションショーなどのお集りに。
- 最新機能の音響装置。

寿

ご婚礼

佳き日に永遠の幸せを誓う

- 800名様までの日本料理、フランス料理、仏蘭西会席着席ご披露宴。
- 庭園での記念撮影も随時お振りいただけます。
- チャペル・神殿でのご挙式も承ります。



CHINZAN-SO
椿山荘
03-3943-1111

☆母校の後輩の皆さん（現役生）の大きな目標の一つは、大学進学です。中等教育（中学校・高校）は、人生の基礎基盤を作るのに大切な時期ですね。体と脳みその成長が著しいこの期間に、しっかりと鍛えることが大事ですね。「神経に叩き込む勉強」が重要です。鍛えるプロセスで、人間性も磨かれます。その「心（人間性）・技（学力／技術）・体（健康／体力）」の基礎基盤があって、高等教育（大学・大学院）／専門教育が成り立ちます。母校の進路情報によると、「123期3年生は、志望校合格に向け猛進中！」とのこと。10月の時点で、平日4時間33分、休日7時間53分が家庭学習時間の平均だそうです。1年生（125期生）も昨年比で+10分、2年生は+3分となっているそうです。自分の人生だ、おも

いっさりやれ！。
☆最近、大学では受験希望者を対象とした「オープンキャンパス」が行われることがポピュラーになっています。後輩の皆さんも、オープンキャンパスに積極的に参加しています。また、それを卒業生で現役大学生である安積OB・OGがサポートしている事例が増えています。とても良いことですね。
☆社会を覆う経済不況は、大学進学を目指す高校生達に暗い影を落としています。母校卒業生の進路状況は、最近では「関東志向・私学志向」が強まっているとのことでしたが、直近では「地元志向・国立大学志向」が強まっている様子です。とはいえ、大学生の就職状況から、「首都圏志向」は強まっているので、東京桑野会の役割も時代に沿ったものとなってくるでしょう。

会員の皆様のご尽力・ご助力をお願い申し上げます。

会員動向

☆東京工業大学名誉教授で国際政治学者の永井陽之助氏（安積54期）が、一昨年2008年12月30日に死去していたことが昨年2009年3月18日、公表されました。東京桑野会会報No.31号の編集に間に合わなかったため、今号でお知らせいたします。享年84歳。東京都の出身。ご冥福をお祈りいたします。なお、氏の功績につきましては、東京桑野会ホームページに詳しく掲載しております（<http://www.tokyo-kuwano.com/blog/blog012.htm>）ので、ご参照ください。



ご挨拶

安積桑野会会長
山口 勇（69期）

NHKスペシャルドラマ「坂の上の雲」は、2009年11月29日に第1回が放映されスタートしました。我が母校安積高校旧本館のシーンは1回目の後半部分に登場し、日本中にその雄姿が映し出され、全国の皆さんに観てもらい感動しました。地元郡山出身の西田敏行、本木雅弘、香川照之など当代一流の名優が出演し、今後の放映も楽しみです。

母校も創立125周年を迎え、125期生320名が入学しました。また「千紫万光」のスローガンのもと旗旗祭が盛

大に開催されました。生徒会はエコ活動推進の啓発に取り組み、大きな成果が見られました。

平成21年度は安積桑野会の役員改選の年で、総会も無事終了し次のように決まりました。

・会長：山口 勇（69期）、副会長：丹治 徹（72期）、須佐善夫（75期）、山口孝夫（76期）、石田宏寿（77期）、高橋金一（89期）、新幹事長：笠間義裕に改選され、更なる本会の発展を誓い合ったところです。

また、各地の桑野会総会も4月の岩手県の開催から始まり、三春、福島、県庁、二本松、関西、本宮、宇都宮、仙台、郡山市役所、石川、須賀川と実施されました。各地区ともに世代間の交流と青春の思い出に花を咲かせ、安積魂を確認されていました。

平成21年の年末になり、安積桑野会元会長の今泉正顕氏、岩手県桑野会

会長の今泉亀徹先生という偉大な先輩のご逝去が続きました。両氏は、安積の同窓会の中で常にリードオフマンとして活躍なされ、本会として大変にお世話になりました。ご冥福をお祈り申し上げます。

また、朝河貫一博士の恩師ハリファックス先生は韓国で亡くなられていることから、その墓参と韓国教育科学技術部（日本の文部科学省）の訪問が、朝河貫一顕彰会の古川清会長、矢吹晋代表理事、梅田秀男副代表、武田徹事務局長など総勢25名で実施されました。

安積歴史博物館運営委員会は創立125周年行事として、博物館の開放事業でギャラリーを開設し、本校ゆかりの方々の作品展を開きました。おかげさまで盛況でした。今後は積極的に開放し、結婚式、展示会等に大いに活用して頂きたいと思っております。

さらに、安積桑野会のホームページが再稼働いたしました。ぜひご覧下さい。

安積桑野会役員一同、母校、同窓会、歴史博物館の発展のため、皆様と共にガンバッテ参りますのでより一

層のご協力ご支援を宜しく願います。東京桑野会の益々の御隆盛を祈念しあいさつと致します。



卓越した学校を目指して

安積高等学校長
鈴木 仁

3月1日に行われる第123期生卒業式では、355名の生徒が開拓者精神を胸に新たな世界へ巣立ちます。卒業生諸君が歩んできた3カ年間は、安積高校125年の歴史に輝かしい新たな1ページとして加わることになります。

平成21年度は「生徒教職員が一丸となって、文武両道を貫く、福島県トップの卓越した学校を目指す」のローガンのもと、1001名の在籍生徒でスタートしました。

8月末に開催した125周年記念「紫旗祭」は、生徒教職員が正に一丸となって取り組んだものでした。各方面からたくさんの方々をお迎えし、「千紫万光」のテーマのもと学校全体が大いに活気づきました。生徒教職員並びに桑野会の皆さんと、安積高校の伝統や誇りをみんなで共有できたことが何よりでした。

文化部・運動部とも、地区大会・県大会では、例年のごとく当然のレベルとしてたくさんの部が活躍しました。東北大会には、陸上部の女子マラソン、男子ハンドボールが出場しましたが、全国へは後一步届きませんでした。全国レベルでは、放送部がNHK全国高校放送コンテストで奨励賞を、文芸部が全国高校文芸コンクールで入選するなどの活躍がありました。

また、昨年の春に新人戦で優勝したラグビー部は、3度目の花園へ今年こそとの期待が高かった決勝戦で、磐城高校に惜敗しました。悔しさを胸にした1・2年生部員は、来年へ向けて、花園への夢を現実にとりベンジを誓ったところでした。野球やサッカー等の団体球技や他の運動部も、全国大会出場は、部員一同の目標であり安積の悲願でもあります。

これら運動部の目標を考えたとき、技術体力の向上は当然として、競争に打ち勝つ精神力の強化が求められていると感じるときがあります。男女共学となり来年度は10年目を迎えますが、3学年8クラス体制での部活動の在り方と共に、生徒の意識の変化を部活動活性化にどのように結びつける

のか等、その方策が学校に求められていると思います。

さて、皆様は、本校が「福島県トップの卓越した学校」を目指していることに大きな期待を寄せられていると思います。本校の文武における活躍は、桑野会の皆さんの元気に繋がるの思いを持っています。これからも、安積高校が東北の雄として全国区で高い評価が得られ、皆様方に元気を届けられるよう、生徒教職員が一丸となって努力していく所存であります。

そんな思いの中、生徒から先日も元気をもらいました。福島県立医科大学の推薦合格発表の日。午前10時過ぎてまもなく、進路指導部からの現役志願者8名中7名が合格したとの情報とともに、合格した生徒が校長室に合格のあいさつに来てくれました。おめでとうの言葉と握手は何よりもうれしいことでした。そして、信頼される立派な医者になって地域医療にも貢献して欲しいとの気持ちを伝えました。123期生一人ひとりの大学入試での頑張りは、もうすぐ皆様方に届けられると思っています。

最後に、東京桑野会の皆様のご健勝を祈念し、ごあいさつと致します。

小橋クリニック

院長 小橋主税 (86期)

福島県須賀川市仁井田大谷地172-3
TEL 0248-72-1555

東京桑野会への想い

橋本高行 (70期)

1. 思い出 (プロローグ) : 70期、6クラス316名は、母校の旧本館を後に、昭和32年3月卒業した。希望を胸にそれぞれが選んだ道を歩み53年、時の流れの速さを実感している。当時教わった、佐藤学校長、クラス担任の牧田、水田、渡辺 (久)、渡辺 (永)、滝田、日下各先生方には、故人となられてしまったが、時々卒業アルバムを捲っては、お世話になった在りし日の各先生方を偲んでいる。

2. 東京桑野会総会出席と甲子園出場 : 卒業後上京、勸奨退職するまで皇室守護の任を全うさせていただいた。しかし、仕事の忙しさにかまけて総会には出席していなかった。初めての出席した時の会長は澤田悌氏であった。東京桑野会三箇条の創設者であり、その趣旨に共感し、爾来出席している。澤田会長亡きあと、重任を引き継がれた古川清現会長には、東宮で要職に就いておられ、その折は大変お世話になった。椿山荘で、会長始め同期や多くの会員とお会いし、料理を頂きながら親しく語り、楽しいひと時を過ごさせていただいている。

そんな中、平成13年1月、母校野

球部が、創設された21世紀枠に選ばれ、第73回選抜高校野球大会に出場し、悲願を果たした。質実剛健・文武両道の精神と伝統を受け継ぐ母校を、誇りに思うとともに感激も一入であった。会員の皆様と甲子園に駆けつけ、5千人を超す応援団の一人として声を嗄らして応援したが、金沢に敗れた。しかし、質実剛健の応援が認められ、「応援優秀賞」受賞の荣誉に浴したことが、何より嬉しかった。我が家には、今も出場記念ペナントが飾られ、色褪せることなく燦然と輝いている。

3. 東京桑野会70期会の設立と現況 : 平成17年、総会に出席した同期生は5名と少なかった。会長挨拶で、「会の衰退」が心配されるとのお話を聞き、総会を盛り上げるためにも、70期会を立ち上げようということになった。早速、桑野会70期幹事の石井、矢吹君、渡辺君ほか6名が発起人となり、首都圏在住の同期生95名あて、東京桑野会70期会会則 (案) に、在校当時の「社会事象と世相」をまとめた資料を添えて、往時を偲び今日までの母校の変貌の様子や近況などを語り合うひとときを持つと、と設立を呼びかけた。その結果、28名の入会希望者があり、桑野会総会から半年後の11月26日、創立総会を開催した。会長に、矢吹晋君 (横浜市立大学名誉

教授) を推挙し、昨年まで5回の総会を開催することができた。なお、体調不良のため1名が退会、新たに2名が入会し、現会員は29名である。

総会では、矢吹会長から挨拶を兼ねて朝河貫一博士顕彰協会の活動報告があり、佐々木君手作り特製ワインなどを酌み交わし、各自のスピーチは近況を3分、後は在校当時の担任の先生、郷里の同期のこと等を語り、楽しいひと時を過ごし、肩を組み声高らかに校歌を合唱し、散会している。第5回総会では、新会長に古屋英敏君を推し、懇親に入った。10月に放映された「鶴瓶の家族に乾杯」で、渡辺正恆君 (三春支部長) が、鶴瓶師匠と徳光アナを自宅に案内していたことが話題になった。会は盛り上がり、「来年の総会に、郷里の竹馬の友にも参



花に埋もれる郡山公会堂
画 : 梅田秀男 (73期)

古川 清 (63期)

会を呼びかけ、交流の輪を広げよう。」
また、「家族ともども健康に留意し、家族の理解と協力を得て、経済的に少しの余裕があれば、今日のように出席でき、楽しいひと時を過ごすことができる。来年も必ず出席しよう」とのアピールがあり、平成22年11月7日の再会を誓って散会した。ともかく、会員が健康で、年に1度合って楽しく語らい、友情の絆を確め、さらに回を重ねることができれば、これほど幸せなことではないと思っている。

4. 東京桑野会への想い

70期会設立後は、東京桑野会総会出席者が7名から10名と多くなり、加えて、平成13年度から始まった、男女共学課程を卒業した若い会員が増える傾向がみられ、頼もしく感じている。しかし、ここ2・3年の総会における、会長挨拶、幹事長会務報告では、会員3,800名の年会費収入が、10年前に比べ、約23万円ほど減収している。会報五千数百部の印刷配布の大きな支えとなっている、「広告（収入）」も減少し心配である、との話を聞くようになった。

そして昨年末、会報No.32の発行にあたり、各幹事・同期生に対し「広告（収入）」の協力支援依頼があった。会長を始め、役員各位のご苦勞を思うと、他人事では済まされない問題である。70期会として、この依頼に何らかの形で協力支援できないか、役員各位に諮り、「名刺広告」を掲載し協力することとし、事務局に申し出た。

会報第1号は、昭和57年4月に発行され8頁であったという。我が家の本棚には、中質紙・表紙色刷り・24～44頁・右綴じ。普通紙二つ折り・16～24頁・左綴じ。の会報がある。編集方針や時代の変遷を物語っている。

今後、頁数、紙質を現状を維持、皆さんに読んでいただける会報とするため、広告収入の増額方策、年会費納入率低下要因の検討と納入率アップ対策を講じる。各期別・現職・OB等々幅広く寄稿を依頼するなど、内容を充実して行かなければならない。

この会報は、同窓交流の切っ掛け、相互啓発の一助となりお互いの心身に沁み、やがて知識として身につく血となり肉となる。言い換えれば、会報は「同窓の絆」であり、「心の栄養」、「人生の糧」である、と言える。

5. 終わりに（エピローグ）：現在の東京桑野会は、戦後間もなく誕生して60有余年、首都圏の同窓会員3,800名の親睦会として、存続発展させなければならない。

若い会員の元気と勇気、先輩会員の知恵と経験をもって力を合わせれば、活力を取り戻し会を活性化することが出来ると思う。先ず、会員が、「東京桑野会三箇条」の趣旨をご理解いただき、総会に出席し、和やかに楽しいひと時を過ごしてほしい。

また、小さなことでもよい、今出来ることを一つ一つ積み重ねて行っていただきたい。同期会や趣味同好会の立ち上げ、また、東京桑野会の囲碁及

びゴルフクラブとの交流、或いは、手軽に楽しめるグランドゴルフを、東京花かつみ会の皆さんもお誘いして開催するなど、交流の場を設け、友情・友好の輪を広げてみては如何でしょうか。

70期会は、今出来ることの一つとして、名刺広告を掲載、首都圏同期の入会及び故郷の竹馬の友にも総会への参会を呼びかけ交流の輪を広げ、会の活性化を図り友情の絆を堅めることとした。このことは、東京桑野会の活力回復と活性化に、少しでもお役に立てばとの想いからである。

旧制安積中 最後の卒業生が 60周年の集い

柳沼 晃 (65期)

安積高校の前身である旧制安積中学校を卒業して平成22年に60周年を迎える65期生が、平成21年10月30日に郡山において同期懇談会を開催いたしました。36人が集まり、楽しいひと時を過ごしました。この年次の人達は、旧制安積中学の最後の卒業生です。高校2年生まで後輩がいなかった



旧制安積中学校 昭和27年卒(65期) 同期懇談会(2009.10.3. 於郡山)

こともあって腕白、マイペースですが、安積伝統の質実剛健、開拓者精神、自立心を強く持って生きてきました。

合同同期懇談会というのは、郡山の27会（土屋英雄幹事）、東京の五十鈴会（伊藤巖会長）、仙台の桑野会（杉山忠資幹事）の集まりだったからです。2011年11月11日に卒業60周年と77歳の喜寿の会を開きます。100人余りの参加が見込まれます。“安積”に感謝。

嗚呼！幻の男子校

渡辺哲弥（70期）

母校が男女共学校になったと聞かされたのは、実施されてから2年後、クラス会の席であった。ショックだった、青天の霹靂であった！。共学そのものの良さは、十分に理解できるし、男女機会均等という時代の流れにあった事も判るが、何という事をしてくれたんだという思いが有りました。諸兄のご批判に遭うとしても、一度はこの気持ちを綴ってみようと思い投稿することになりました。

私は転校生であった。昭和30年4月に30名程の転入受験者が居たようだ

が、加藤木君、古屋君と共に3人が2年2組、担任水田先生のクラスに編入を許された。それぞれ親の転勤に伴うものであったが、私の場合親の転勤の1年前であり、無理な前倒しの、叔父宅下宿をしてまでもというものだった。そうまでして転校をしたかったには理由があった。父の戦死により、母は教員となって私の通う小学校に勤めていた。教師の子供で6年間過ごし、中学では生徒会長をしたりして、多少は目立つ存在だったかも知れない。当時の学区制から当然田村高校へ進学した。田高は三春駅から徒歩10数分の高台にあって桜の多い高校らしい佇まいで、クラスの人達とも仲良

くなり、雰囲気も良く、いい学び舎であった。中学では好きになれなかった英語も担当教師の教え方が上手かったのか、すっかり好きになり、自信も付き、他の教科にも取り組む事が出来た。従って田高への印象は良く、今でもクラス会に出たり、同窓会の協力金もほぼ欠かさず送っている。

然しどうしても厭な事があった。駅から登校の10数分の道程で、上級生の面々が、後ろから皮肉や厭味やら身に覚えのない事などを毎日のように聞こえよがしに言うのである。ろくに口も利かない女子生徒の事や親の事着ている服の事など、どうでもいい様な事から悪口まで人閥性を疑いたく



開成山の桜
画：梅田秀男
(73期)



(株)朝日ラバー取締役会長

伊藤 巖（65期）

〒336-0936さいたま市緑区太田窪3-15-16

なる内容で、反論や言い返す価値も無いと、心の中で軽蔑しつつ、いやで厭で仕方なく、もう苦痛であった。通学の道々女子生徒と入り混じって歩くわけだが、その状況がまた悪口のネタにされるに至って、もう共学は嫌だ、男子だけの所に行って煩わしさから逃れたいと必死に考えるようになった。親や縁者を動かし転校に漕ぎついたのであった。安高へ辿り着いてからは、全く変な煩わしさから解放され、男子校らしい磊落な雰囲気の中で、まさに質実剛健の教え通りの高校生活を送ることができた。

ところが、である。私にとっては金科玉条のような安積高校が、いつのまにか共学校に変わっているではないか！。男子校そのものに憧れ、男子校自体が伝統の良さであり、質実剛健が、おかしなファッションやら不道德の多い現代に警告のように伝承されると、信じていただけにショックを受けた。男女機会均等など時代の流れなのかも知れないが、たった3年間位、伝統的な教育を受けてみるのも貴重な経験になるとおもう。性徴の違いから、すべて同じに過ごせるわけではなく、社会へ出てからの同権とは異なる一時期のことである。何故に、画一的に、伝統を被壊してまで共学に

しなければならなかったのか？一方の伝統的女子高校であった安積女子高校ではどうだったのだろうか？！。どちらも、せめて卒業生達にアンケートでも、時間を掛けて問うてみる必要があったのではなからうか。

高校時代に異性に興味なく、そればかり関心を持つ輩からあらぬ攻撃を受け、共学から逃れたかった男の愚痴であり、割り切れない無念さを述べてみた。

共学により成果が上がったとの評価には、目的の一つが達成され、それは素晴らしいと思う。

(医療法人社団松弘会 介護老人保健施設トワーム熊谷 施設長・医学博士)

安積を訪ねる - 久保猪之吉先生のこと -

佐藤 廣 (69期)

私は、安積歴史博物館を見学するために53年振りに母校を訪ねてみました。館内には朝河貫一先生をはじめ、文学、芸術及び医学界で活躍された方々の素晴らしい業績が展示されていました。この展示の中に元九州大学医学部耳鼻咽喉科学教授 久保猪之吉先生の顔写真と立派な業績が飾っ

てありました。私は以前に、論文や医学書を書いた際に参考資料としたことがあり、名前は存じておりました。先生は、明治26年旧安積中学校の卒業生であり、私の大先輩であることを知り大変驚きました。資料から久保先生は、国内はもとより世界的な医学者としても名声が高く耳鼻咽喉科方面では多大な貢献をなされています。久保猪之吉先生は、現在の東京大学医学部を卒業と同時に同校の耳鼻咽喉科に入局し、明治36年から3年間ドイツに留学、帰国後、明治40年現在の九州大学医学部耳鼻咽喉科初代教授としてご活躍をされています。日本最初の食道直達鏡を用いた手術で広くその名が知られています。また、蓄膿症の手術後、数年から十数年経過して発生する術後性頬部嚢腫（現在は術後性上顎嚢胞）という病気を世界で最初に発見しています。自身で発見しましたので、「久保氏の嚢腫」ともよばれています。私も歯科口腔外科（口腔、顎顔面を中心とした診療科）で、先生が発見した病名で多くの手術を行いました。久保先生は、医学界ばかりでなく文学方面でのご活躍もすばらしく、高等学校在学中から短歌に興味を持っていました。明治31年には学生仲間5人と「いかづち会」を結成し、短歌革新の意図を明

77期の皆さん連絡下さい

(株)開成プランニング 代表取締役

和田 正哉 (77期)

☎ 勤務先 03(3230)8001

自宅 04(7332)2287

らかにし、「日本新聞」に短歌に対する論文を掲載したところ、当時の御所歌所福羽美静氏が敬服され、相当の大家であろうと思って馬車を駆って尋ねたところ、寺に下宿する一大学生であったので唾然としたとの事です。久保先生は、少年時代から苦難の道を歩んでこられました。

家庭が貧しく中学進学は、不合格の場合は酒屋の丁稚奉公が条件でした。入学試験では、小学校時代に英語の科目がなかったのに、英語の成績が極端に悪く、他教科は満点でしたが、判定会議で不合格、ところが一人の教師が事情を察し、もしも英語の科目があつて教えたならば出来たであろうと主張し、将来性を高く評価され合格になったとの事です。これは、功なした先生の祝賀会の席上で久保先生ご自身が語られたという事です、残念ながら、余りにも時代の差があつて直接お目にかかる機会がありませんでしたが、資料からは、久保先生の何事にも努力家で学業成績抜群の真面目なお人柄が偲ばれます。従つて、旧安積中学校時代から多くの教師、先輩からも注目され将来性を期待された素晴らしい人物であつたと思います。このような立派な先輩がいた事は母校にとつても名誉であり、私にとりまして

も大変な感激でした。

最後に70期の高田宗彦氏から資料提供を頂きましたこと、感謝の意を表します。 (日本大学 名誉教授)

人生の基礎づくり

関根健治 (73期)

私は郡山生まれの郡山育ちである。

父の実家が須賀川市近郊の農家だったので、安積郡一帯がいわば私の故郷であり、私を育ててくれた環境であつた。したがって、私の原風景はその中にある。

戦後の物資不足の時にも拘わらず、近所の大人達の温かい眼差しに守られながら、年の近い子等と遊んだ幼少時代、若き軍隊帰りの教師を筆頭に子供達の教育に熱心な先生方に指導を受けながら、学問の習得と心身の正常な発達に努力していた少年時代、そして郷土で受ける教育の総仕上げとして、優秀な先生方による文武両道に亘る薫育、それこそが安高に於ける三年間であつた。いわば私にとって安高の教育は、これから社会に飛び出していく若者に対する郷土からの最高の贈り物であり、期待そのものであつたように思う。人生を渡っていく上で必要

な基礎的な知識、不撓不屈の精神、郷土愛、人間愛を感得したと、この年になって思うのである。いわば、人生の土台作りをしたように思う。

卒業後、東大に進学し、全国から集まってきた俊英達に伍して学ぶ中で、他流試合に臨んでいるような、絶えず他校と比較考量していたように思う。その後、農林中金に勤務し全国各地を歩き、又、退職後は世界各地を旅するなど見分を広めてきたが、いつも故郷のことどもがベースにあつて、そこで培われたものが、人生の節目節目で、試されてきたように思う。

東京桑野会に集う面々は、多かれ少なかれ私のような想いを抱いているのではなかろうか。年に1~2度と会う機会は少ないが、こうした暗黙の共通した想いが、語らいを、楽しくも安らかなものにしていくように思われてならない。

今でも誇りに思える高校生活が土台となつて今後とも実りある人生を歩んでいけたらと思う。東京桑野会での交遊を大事にする所以である。いつも、安達太良に連なる山々が私を観てくれているように思われ、幸せを感じずる昨今である。

ただ、ここ3年ほど会計監事として桑野会の活動を見ていると、財政の貧

そば・うどん・酒処

鞍手茶屋

霞ヶ関ビル店
2009年4月
リニューアルOPEN!

東京で福島のけんちんもちを!!
—— 昼はそば、夜は酒と肴 ——

霞ヶ関店 〒100-6001 東京都千代田区霞ヶ関3-2-5 霞ヶ関ビル1F ☎03-3581-7066

大手町店 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3 大手センタービルB1 ☎03-3213-2385

中山峠店 〒963-1304 福島県郡山市熱海町国道49号線中山峠 ☎024-984-3774 〈店主〉上野富衛 (78期)

弱さに驚く。会員各位の協力を仰ぐ想い切なるものがあることを最後に付記しておきたい。

旧本館、朝河貫一博士、近況報告

後藤 大 (107期)

旧本館の講堂が好きだ。特に、誰もいない時間帯に行くのがいい。静けさの中でこそ、伝統や歴史の重みに、そっと触れることができると思う。「趣がある」という言葉は、こういう時のためにとっておきたい。

高校時代に放送委員会に入っていたおかげで、旧本館の講堂で集会有るときには、マイクをセットしに、まだ誰もいない講堂に行くことができた。集会の間は、たしか講堂の壇上に向かって右手にピアノがあり、その陰に隠れてのんびりしていたと思う。今となっては、ピアノがあったかどうか思い出せないのが、頼りにならない記憶である。ひょっとしたら今この瞬間に脳が作り出している幻かもしれない。

集会が終わると、片付けをしても戻

るのだが、展示をふらふら見ながら戻ることもあった。これがなかなか面白かったと思う。残念ながら今となっては、どんな展示があったか思い出せないのが、やはり頼りにならない記憶である。

もっとも、情報化社会のおかげで、「安積高校歴史博物館」をインターネットで検索すると、ウェブサイトがあり、朝河貫一博士の特別展示をやっていることがわかる。個人的な話で恐縮だが（それ以外の話を今まで書いていたのか）、朝河貫一博士には足を向けて眠れない。大学の入試の小論文が「歴史上の人物を1人紹介し、その人の立場から現代社会の問題点を論じなさい」という問題だったのだが、何を隠そう（隠していない）朝河貫一博士を題材にして書いたのであった。他の受験生が選ばないであろうという視点もあったが、受験した大学が朝河博士の進学した大学だったから、という打算が働いたことは言うまでもない。おかげで無事合格できたので、天国に足を向けて眠れないのだが、幸い逆立ちをして寝る習慣がなくて良かったと胸をなで下ろしている。もっとも、胸をなで下ろすと、最近、自己主張が目立つ

ようになってきた腹部の丘陵地帯で、手が止まってしまうのが残念である。

私が在学していたころから、朝河桜の話は有名だったが、一昨年の東京桑野会の総会に行った際、朝河博士が使っていたという辞書を再現したものを購入させていただいた。実物を見ると、ジーニアス英和辞典の6分の1程度の厚さで、「これなら食べ切ることができるかもしれない」と思った。そう書いたら、ユーモアとして理解してもらえるだろうか、というのが目下の悩みの種である。

最後に文体を変えて、少し自己紹介と近況報告をさせて頂きたいと思います。東京桑野会の107期の幹事を拝命しました弁護士の後藤と申します。そのご縁で今回、原稿を書かせていただきました。平成22年3月1日より、事務所を移籍しまして、現在、東銀座駅近くの堂野法律事務所にて執務をしております。これまでの一般民事事件の経験と、これからの企業法務の経験、双方に更なる努力を積み重ねていく所存です。今後とも、よろしく願い申し上げます（比較的、真面目な文章も書けるようで、少し安心しました）。

栄冠は君に輝く

浅川 章 (76期)

長い歴史を誇る春のセンバツ・夏の甲子園で東北地方の高校が紫紺・深紅の優勝旗を手にしたことはない。まだ一度も白河の関を越えたことはない。

二〇〇九年は全国制覇の期待が大いに高まった。しかし、超高校級の速球

投手の菊池雄星を擁する花巻東高が春夏ともに快進撃を続けたが、あと一歩及ばなかった。これまで高校（中学）野球史上、東北のチームでは秋田中、三沢、磐城、仙台育英、東北そして花巻東の各高校が準優勝に輝いている。

若い頃から僕は高校野球ファンで、毎夏七月下旬には首都圏の地方大会決勝戦を梯子する。近年の猛暑には辟易するが、大宮球場や神宮球場に行くと

猛暑をしばし忘れさせてくれる。

夏の甲子園が始まると、最初は東北のチームを応援し、敗退すると次に雪国のチームを、そして東西対決になれば東日本勢を応援する。

二〇〇一年春、わが母校安積の甲子園初出場に安積のOBらは沸き立った。六千余の安積健児が馳せ参じ、あの広いアルプススタンドが地鳴りを生じたといわれるほどの大声援を送っ

た。あの歴史的な光景がつい昨日のように鮮明に蘇る。

さて、夏の甲子園の開会式には大会歌「栄冠は君に輝く」が歌われるが、作曲者は福島市出身の古関裕而である。

雲は沸き 光あふれて

天高く 純白の球 今日ぞ飛ぶ ～

この歌は昭和二十三年四月、学制改革により新制高校が誕生し、大戦中中断されていた中等学校野球大会が全国高等学校野球選手権大会として開催されることに伴い、新大会歌が作成されることになり、歌詞は全国から募集し作曲は古関に依頼された。

この歌は福島県本宮町出身の歌手伊藤久雄が朗々と歌い上げて、同年八月の大会で大合唱されて以来毎年の開会式で歌われている。

古関裕而は明治四十二年（1909）、福

島市の生まれで昭和音楽史上に燦然と輝く作曲家であり、生涯に五千曲余の作曲を残した。歌曲、歌謡曲をはじめ、ミュージカル、映画、ラジオドラマからマーチ、応援歌、校歌など広いジャンルに亘り、独学で作曲法を身につけたとされるクラシックをベースにした気品あふれる名旋律の数々を世に送った。

平成二十一年は、古関の生誕百年そして没後二十年に当たる。代表的な作曲として、終戦直後、戦災孤児救済キャンペーンの一環として放送されたラジオドラマ「鐘の鳴る丘」（主題歌「とんがり帽子」）は、生活の困窮の中にあつた人々の心に希望を、半ば目的を失っていた子供たちに大きな夢を与えた。

昭和二十七年から二年間ラジオ放送された「君の名は」（主題歌同）は

「毎週木曜日の夜八時になると銭湯の女湯が空になる」と喧伝されるほど女性の人気を呼び、空前のヒットドラマとなった。そして、我が国が高度経済成長の波に乗った昭和三十九年十月十日、アジア初の東京オリンピックが開催されたが、開会式の入場行進で演奏された勇壮の中にも日本的な美しい旋律に彩られた「オリンピック・マーチ」は荘厳な名曲と言えよう。

今日もNHKのラジオから、昼には懐かしい田園風景が浮かんでくる「昼の憩い」が、日曜日の夜には森繁久弥・加藤道子の名コンビで知られた「日曜名作座」のテーマソングが流れるなど古関メロディは今なお多くの人々を魅了して止まない。

付記：昭和六十三年十一月十二日、福島市制八十周年記念事業として同市

磐梯熱海温泉 安積桑野会旅館案内、帰省の折には是非ご利用下さい。

詳しくは各旅館ホームページをご覧ください。東京桑野会報を見たとおっしゃってご予約下さい。

四季親 一乃

TEL 024-984-2115

心づくしのおもてなし

一力ではお出迎えからお見送りまで、お客様に心ゆくまでくつろいで頂けるよう、満足のゆくおもてなしをするべく日々心掛けしております。季節を感じる料理、広々とした客室、眺めのいい風呂、華やかなウエディング、その全てに粋な演出を込めました。わずらわしいことは忘れ、心ゆくまで最良の時をお楽しみください。

www.ichiriki.com

熱海荘

TEL 024-984-2101

日常の雑事から離れて…

たゆやかな山と河の風景、そして静寂。数寄屋造りわずか10室、贅沢な大人の空間。玄関でのお香から寝具の寝心地まで、すべては五感の安らぎのために…そして、その日厳選された素材で造る、お部屋出しの会席料理でも本当に価値があるものは目に見えないもの…時が止まりそうな静けさの中、熱海荘には 心に残る時間があります。



はたご 旅籠 松柏

しょうはく

TEL 024-984-2525

ご高齢の方やお体の不自由な方にも配慮した、“やさしさ仕様”の設備をととのえております。

磐梯熱海温泉旅館松柏は、高齢者や障害者を含むすべての人々が安心して快適に楽しめる社会環境づくりに貢献した旅館や地域組合の活動に対して贈られる「人に優しい地域の宿づくり賞」最優秀賞を受賞した「やさしさ仕様」の旅館です。



をりふしの宿 昭月

しょうげつ

TEL 024-984-3309代

テレビを消して自分の時を過ごそう。

本を読むのもいい。飽きたら小鳥のさえずりを聞きながら、まどろむ。掛け流しの湯に入る。頃合良く食事が運ばれる。おいしい、地酒でも飲もう。



磐梯熱海 紅葉館 きらくや

KIRAKUNEO

TEL 024-984-2130代

きらくやの基本的な考え方。

通常の旅館はいつでも1泊二食付きそして食べ切れないほど食事とサービスが付きまします。1996年にきらくやと言う名前生まれ変わり、お仕着せの夕食と過剰なサービスを無くして低価格の「一泊朝食旅館」きらくやが生まれました。これはグローバルスタンダード、外国人客も宿泊しやすく、地球温暖化防止にも役立つのです。



に古閑裕而記念館がオープンした。建物は古閑の代表作「とんがり帽子」をイメージしたもので、愛用の Hammond・オルガンや楽譜などが展示され、来館者はレーザーディスクを通して音と映像から古閑メロディに触れることができる。

(日本生命保険相互会社 顧問)

福島県の高校野球

「福島県の高校野球」 管理人

私が「福島県の高校野球」(URL:<http://baseballfuku.soc.or.jp/>)のホームページを立ち上げたのが1999年秋です。当時は日大東北が県内の高校野球界を牽引していました。1999年の秋季県中大会でその日大東北を破り安積が優勝したというのを知り、今チームは強そうだという期待と、当時は今のようにネット上にも情報がなく、新聞に出た結果だけでも掲載すれば他県在住の方には喜ばれるだろうと思っページを立ち上げました。

私がページを作るきっかけとなったそのチームは、翌春の県大会に優勝したものの夏は準々決勝止まりでした。しかし、1つ下のチームにはその優勝メンバーが数多く残り、戦力的にも一

般選考チームと遜色がないという理由もあり、センバツに21世紀枠で選出されました。

さて、現在の福島県の高校野球の状況ですが、私がページをはじめた1999年以降は結構見てきたつもりですので、その前後から述べたいと思います。

1990年代後半は、夏の甲子園3年連続出場もあり日大東北が県内の高校野球界を牽引していました。さらには郡山を強豪に育てた誉田監督が光南(旧・矢吹)に就任し強豪として名乗りを上げ、それ以前に県内の高校野球界を引っ張ってきた学法石川が甲子園になかなか手が届かなくなってきた、という時期です。しかし、福島県代表は甲子園で初戦負けを続け、全国的に見たら暗黒時代といえる年代でもあります。

21世紀最初の甲子園は、我が安積のセンバツ出場が始まり、その年の夏は聖光学院が甲子園初出場を決めます。甲子園では大分の明豊に0-20の大敗をしましたが、今振り返ると、シードにはなるけれど甲子園に行けない学校だった聖光学院が常連になるきっかけになったと言えます。

この初出場以降、聖光学院が県内の高校野球界を牽引するようになり始めました。最近6年間に夏5回、センバ

ツ2回の甲子園に出場し、計7勝と全国でも勝てるチームに成長し、福島県のレベル向上に大きく貢献しました。その一方で、日大東北はなかなか甲子園に行けなくなり、長年勤めた宗像監督から増田監督に交代しました。学法石川はさらに低迷期に入った印象で、頻繁に監督交代をするようになってきました。

聖光学院の1強時代になりつつありますが、昨夏決勝まで進出した東日本国際大昌平が新興勢力として台頭しつつあり、学法福島が県外から留学生を大量に入れ強化を開始し、今後の展開が気になるところです。

我が安積に関しては、例年いいところまで行くけれどなかなか壁を越えられないという状況は昔のままではないかという気がします。しかし、この春に開成山球場が大改修生まれ変わります。このホームスタジアムのリニューアルを機に今まで以上に大勢のOBに応援に来ていただき、安積ナインの甲子園出場を願うものであります。

(※東京桑野会事務局からのお知らせ：インターネットサイト「福島県の高校野球」は有名なので、管理人さんからの要望で匿名寄稿とさせていただきます。)

株式会社 富士ハイエンジニアーズ
一級建築士事務所

代表取締役
(管理建築士) **遠藤 修** (67期)
(一級建築士)
(一級建築施工管理技士)
(一級土木施工管理技士)

〒215-0015川崎市麻生区虹ヶ丘一丁目18番6号
☎:090-3212-2892
FAX:044-988-7547
E-mail: fujihigh-eng@jcom.home.ne.jp

安高は自分の心の拠りどころ

医療法人社団 松弘会 **トワーム熊谷**
介護老人保健施設

施設長 **渡辺 哲弥** (70期)
医学博士

(練馬区東大泉7-14-15)

東京桑野会70期会

〈第6回総会〉
平成22年11月7日(日)正午開催!

《昭和32年卒・70期の皆様へ》
☆首都圏の皆様 入会をお待ちしております
☆故郷の皆様 参会のお誘い電話を差し上げます
☆会員の皆様 後日改めて詳細を案内いたします
◎連絡先(幹事長 橋本高行)
☎ 0476-92-9655
電子メール:t-hamo1938@ab.uone-net.jp

朝河貫一顕彰協会便り

矢吹 晋 (70期)

「朝河貫一顕彰協会の活動」について昨年の活動としてご報告すべきは、二つである。一つは朝河貫一にネイティブ・スピーカーとして英語を教え、朝河の生き方に大きな影響を与えたトマス・ハリファックス墓参の旅（10月17～20日、ソウル市楊花津外国人墓地）であり、一つは師走に発行された「朝河記念卓上カレンダー」（実費500円）の販売である。この二つについては、朝河貫一顕彰協会のホームページに、詳しい報告があるので、ぜひアクセスをお願いしたい。（<http://www20.big.jp/~asayale/>）

ここでは、矢吹自身がその後、調査したあるエピソードについてご報告したい。1930年、イェール大学でスターリング図書館が建設されたとき、ファサードに人類史古今の名句が刻まれたことは、拙著『朝河貫一とその時代』（花伝社、2007年、43ページ写真参照）で言及した。朝河の選んだ59文字は、忠臣・顔杲卿のために肅宗の書いた墓誌銘であった。この内容は、朝河が図書館に残した英訳とその解説から明らかだ。しかし筆跡がいとこ顔真卿のものか否かは不明であった。内容から推

して「家廟」の推測はつけていたが、果たして台湾中央研究院で『全唐詩文』（巻341）を確かめ（2008年9月）、中村不折の「書道博物館」で『顔氏家廟碑』拓本を確認した（2009年12月）。朝河

はヒトラーの台頭や祖国が軍国主義に傾斜する兆候を憂慮しつつ、このことばを選んだように思われる。

(原文)

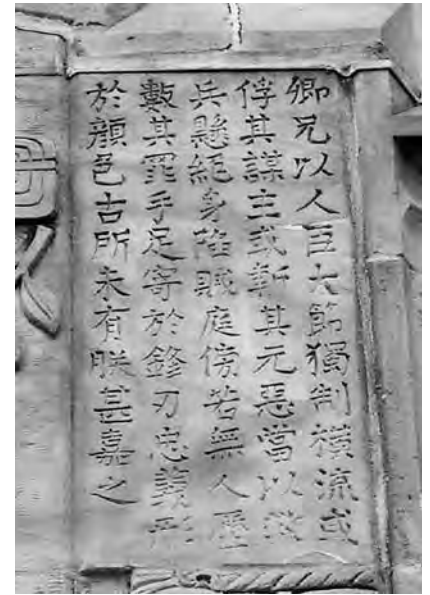
卿兄以人臣大節、獨制橫流或俘其謀主、或斬其元惡當以救兵懸絶、身陷賊庭傍若無人、歴数其罪手足寄於鋒刃、忠義形於顔色古所未有、朕甚嘉之（59文字）

(読み下し)

〔顔杲〕卿兄は、人臣の大節を以て、独り横流を制し、或は其の謀主を俘とし、或は其の元惡を斬る。当に兵を救わんとして孤立し、身は賊の庭に陥るも、傍若無人、其の罪を歴数す。手足を鋒刃に寄せられつつ、忠義を顔色に現すは、古より未だ有らざるところなり。朕*甚だ之を嘉す。*肅宗（711～762、在位756～762）

(朝河の英訳)

Thy brother, in his great fidelity as subject, by his single effort stemmed the wicked current of rebellion, capturing its chief counselors and killing its principal felons. When he should have been reinforced with troops, he was isolated, and fell into the hands of the rebels. Dauntlessly he enumerated their crimes, abandoning his limbs to the sword, and expressing his loyalty in his countenance. Ancient annals knew no like example. We praise the deed highly.



(朝河貫一顕彰協会代表理事・横浜市立大学名誉教授)

山縣記念財団常務理事

増子 邦雄 (71期)

大和田 充彦 (71期)

〒243-0213
神奈川県厚木市
飯山 2116-88 古松台 13-2

日本海運は若い皆様を
待っています

大内 博文 (71期)

(社)海洋会副会長・横浜支部長
〒231-0002 横浜市中区海岸通 1-1
☎045-201-7786

ホームページの 運用状況報告

—創設7年目の活動と
アクセス状況—

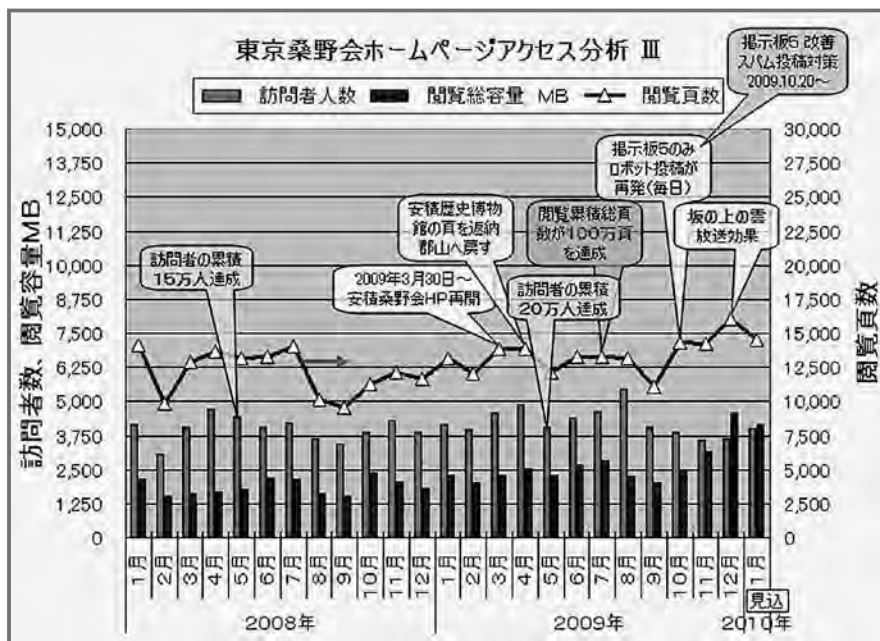
<http://www.tokyo-kuwano.com/>

芳賀雅美 (86期)
(東京桑野会ホームページ委員長)

皆様はNHKスペシャルドラマ『坂の上の雲』をご覧になりましたでしょうか。わが母校安積高校の旧本館である安積歴史博物館がロケの舞台となり、最初は神田の東京共立学校校舎として、次いで海軍兵学校食堂でのカレーライスを食べる場面として登場しました。第一部(5回)は昨年末に放映されましたが、第二部・第三部と3年間に及ぶ大作になっています。ますます目が離せません。当会のホームページでも紹介していますので、ぜひご覧ください。

さて、本題の当会ホームページ運営活動ですが、毎年の会報での年間活動報告は、回を重ねて7回目となりました。幸いにも創設以来大きなトラブルはなく、平成21年度も平穩無事に運用ができ、8年目に突入できました。ご利用された会員の皆様に、深く感謝を申し上げます。

この7年目につきましては、まずは本家「安積桑野会ホームページ」の再開が大きなニュースとなりました。本



東京桑野会ホームページへのアクセス状況

家のホームページは当会より1年早い、平成14年3月に創設されました。しかしながら諸事情により3年後の平成17年4月にはごく一部の機能を除いてほとんど全ての頁が閉鎖され、さらには平成19年9月にはドメインそのものが完全に起動停止しました。安積歴史博物館のホームページも同一ドメイン内でしたので閉鎖となり、やむなく東京桑野会にてその機能を預かることになりました。

長らく停止していましたが、昨年の平成21年3月30日に安積桑野会ホームページが内容を一新して再開となり、併せて安積歴史博物館ホームページについても当会より返納することと

なりました。現在では元のドメインで運用をされています。ひとまず当会での1年6ヶ月間の運営という役割を果たせ、またトラブルもなく無事に返納できたことを、喜ばしく思います。

技術的なことですが昨年秋に、当会ホームページのホスティングサーバについて創設以来2回目のリプレースを実施しました。プロバイダ側の作業ではありますが、サーバ運営の安定性、安全性、信頼性および高速化について従前よりはるかに向上しています。安心してご利用いただきたいと思えます。ただし、公的認証制度のSSL暗号化通信につきましては、さらに大きな費用追加を伴うため、当会では採用

21世紀をリードする 安積 SPIRIT!

浅川 章(76期)

東京桑野会副会長

〒338-0821

さいたま市桜区山久保2-18-3

電子メール: chobi@hyper.ocn.ne.jp

越谷市議会議員

樫村 紀元(76期)

〒343-0851

埼玉県越谷市七左町1-332-9

☎:048-987-1985

FAX:048-987-1563

宗像 良保(78期)

munakata@president.co.jp

していません。本家安積桑野会の新ホームページではSSL暗号化通信を採用していますので、セキュリティーやプライバシーレベルの高いデータの通信には、安積桑野会ホームページ経由で実現したいと考えています。例えば会員ID登録制の頁を創設し、会員情報の管理や安積グッズの通信販売制度の開設などが考えられます。当然ですがこれらの事業は安積現役生やOB全体の問題ですので、東京桑野会だけで決定するわけにはいきません。技術的には可能という、アイデアレベルでの話で、私の「夢」のひとつです。

将来の「夢」(妄想かも)はこのくらいにして、現実に戻ります。ここで当会ホームページへのアクセス状況についてですが、この原稿を書いている1月までの経過を過去2年間分のグラフで示します(別掲の図を参照:今年1月は見込みの数値)。

昨年5月には累積訪問者数が20万人を突破し、さらに7月にはのべ閲覧頁数100万頁を達成しました。この1年間の平均で、月に訪問者4300人、閲覧頁13600頁で推移しており、対前年で訪問者数は6%、閲覧頁数は11%の増加です。トピックスと言えば、昨年1月に設置した「坂の上の雲・紹介頁」へのアクセス数が放映開始の近づいた10月頃から急に増加し、放映があった12月には当会ホームページのアクセスランキング、ダントツ1位

になりました。さらにドラマのあらすじを閲覧した方が、12月平均で1日当たり40人にも上りました。続きが気になるのでしょうか。

一方でこの2年間ほど皆無だったロボットによる自動検索とスパム投稿(迷惑投稿)が、5つの掲示板の内のひとつについて9月下旬から散見され、10月に入って毎日投稿されるようになりました。直ちに対策プログラムを追加しディレクトリを変更しましたが、油断大敵でいつまた進化して攻撃してくるかもしれません。対策を打った10月20日以降は、幸いロボット検索・投稿のアクセスは完全に拒絶されていますが、慢心せずに今後も監視を続けていきたいと思えます。

今後とも会員の皆様のご期待に沿えるよう、充実したページ作りに励みたいと考えておりますので、なお一層皆様のご愛顧を賜りたくお願い申し上げます。(出光興産(株)電子材料部)

安積歴史博物館便り

(東京桑野会事務局)

安積歴史博物館として利用されている旧福島県尋常中学校本館は、明治22年(1889年)に建設され、平成21年(2009年)で満120歳を迎えました。この記念すべき年に、安歴博は全国的にも注目されました。そうNHK

スペシャルドラマ「坂の上の雲」の撮影舞台となり、そのシーンが放映されたのです。安積OB・OGによる視聴率は、とても高かったに違いありません。ドラマで、安歴博が使われたシーンは計4回ありました。神田・共立学校で、秋山真之と正岡子規が再会するシーン。西田敏行が演じる高橋是清の英語の授業のシーン。真之が海軍兵学校の昼食でカレーライスを食べるシーン。父・久敬(伊東四朗)が警察で真之のケンカの科料50銭を支払うシーン。どのシーンも、一目で安歴博と(安積OB・OGなら)分かりました、ネ。東京桑野会の皆さんからも、「英語の授業のシーンに使われた部屋は、71期が3年生の時、3年1組の教室だった」と情報を頂きました。椅子と一緒に使われていた机が使われていたが、今でもあの教室だけが昔のままの形で残されています。旧本館が授業に使われたのは、86期が1年生の時まで。当時を知る方は、懐かしかったですよ。

さて、安歴博の展示内容・活用も充実がはかられています。安歴博にはいくつかのテーマに分かれて展示がされていますが、「久米正雄」の部屋が、展示内容が新たにされました。久米正雄が描く故郷・開成山は、この風土、当時の社会的環境を克明に描いています。是非、「郡山市文学資料館」とともに安歴博を訪れ、郷土を描いた作家・久米正雄に親しんでください。

渡邊 龍一郎(81期)

Watanabe Ryuichiro

〒107-0062

東京都港区南青山 5-12-28-802

Phone 090-1429-6127

E-mail watanabe2021@ryu.biz

床と壁と屋根 孝和建商株式会社

千葉市中央区汐見丘町16番12号

総務部長 小林 伸久 (84期)

E-mail : nobuhisakoba@softbank.ne.jp

Rie's Gospel Choir &
Rummy's Gospel Singers
Gospel Concert
H22. 10. 17(日)15時
南越谷・サンシティホール

中里たかし
バーカッションスクール
ライブ VOL.3
H22. 11月頃(予定)
浅草・クラウド(予定)

医療崩壊阻止のために現場から情報発信を続けています。昨年9月PHP研究所から「医療崩壊のウソとホント」を出版しました。ご高覧いただければ幸いです。

本田 宏(86期)

埼玉県済生会栗橋病院 副院長
NPO 法人医療制度研究会 副理事長

また、「企画展示室」が新設されました。この部屋は、企画展示の他にギャラリーとしての機能を持ち、市民の絵画展など、一般に開放するものです。第1回として（期間H21.8.28－9.30）、母校創立125周年記念OB美術展が開催されました。ぜひ、郡山市民に「郡山市唯一の国指定重要文化財（建造物）」を親しんで頂けるための一助になれば良いですね。

安歴博を訪れた皆さんからの感想を少し紹介いたします。・わたしは、あさかれきはくぶつかんはこおり山のたからものだとわかりました。あとむかし中学校だったこともわかりました（開成小学校2年生）。・二かいの大ホールはすごく広かったです。ベランダでヤッホーと言ったのはきもちよかったです。・郡山に行ったら、是非安積歴史博物館を訪れたほうがよいですよと勧められました。坪井栄孝先生は医師会会長として存じ上げていましたが、大先輩の今泉亀徹先生もこの学校出身とは知りませんでした。驚きました。医師以外で朝河貫一博士もこの学校出身でその偉業については大変感心させられました。素晴らしい人材を送り出しておるのですね（埼玉県からの訪問者）。

皆さんも、是非、安積歴史博物館に足をお運びください。

【ギャラリー予定】新設ギャラリーを

使って 昨年9月にご逝去された今泉正顕元桑野会会長、安積歴史博物館館長の追悼展示を一周忌前に開催する予定です。また、高松豊氏（74期）が同期会にあわせて10月に個展を行う予定です。皆さまにおかれましても積極的にギャラリーの利用をお待ち申し上げます。

スクールカラー「紫」考

渡部良朋（91期）

今年初め、東京桑野会事務局に、一つのメールが入った。母校の生徒会会長を務める相楽純君からである。“生徒会機関誌「安積野」の編集を行っていて、現在安高生の素朴な疑問に答える記事を製作していますが、そこで出てきた素朴かつ興味深い疑問に、「なぜ安積高校のスクールカラーは紫なのか？」というものがありません。安高＝紫というイメージは当たり前のように入学当初から持っていました、いざこのような質問を受けると答えることができません。わかりますでしょうか？」というものであった。これに反応した広報部は、以下のような返事を送った。ご質問の事項、私が現役生であった30年以上前にも、同じような疑問で調べたことがあったのですが、良くわかりませんでした。その後、いろいろなることを知るうちに、私の中

で得られた“見解”をお伝えしようと思いました。ご参考頂ければ幸いです。

古代の中国では、紫は高貴な色でした。その影響を受け、古代日本においても紫は高貴の色でした。大化の改新（西暦646年）で天皇を頂点とした政治体制が作られてゆく中で、冠位七色十三階が定められましたが、最高位の服色を深紫（こきむらさき）としました。これより、深紫を初めとするいくつもの色は、一定の官位以上の者以外の使用を禁じられました。これを禁色（きんじき）と言います。禁色の原則は、江戸時代まで続きました。一般の人々が紫を自由に使用できるようになったのは、明治時代以降のことです。

明治期の学校というものは、現在と比較にならない位に権威があり、また、重要な存在でした。権威の象徴として、スクールカラーに紫を採用するようになったということが一般に言われていることのように思われます。スクールカラーに紫を採用する大学は多いですね。東北大、立教大の紫、明治大、同志社大、駒澤大、関西大の紫紺、九州大のワインカラー、國學院大の古代紫、筑波大の筑波紫等があります。私は筑波大学の出身ですが、校章やスクールカラーと学校の関係について筑波大を例に述べます。

筑波大学の開校は、明治5年（1972年）です。安積の関係者は見た人が多

郡山個展 H22.10.15～23.
安積歴史博物館ギャラリー ☎0243-938-0778

本宮個展 H22.10.27～11.3.
本宮市白沢ふれあい文化ホール ☎0243-44-3185

高松 ゆたか（74期）

盛岡展（予定） H23.5月
滝沢村ギャラリー

ギャラリー・
絵画教室 たかまつ
(<http://www.gallery-takamatsu.com>)

株式会社櫻井淳計画工房

代表取締役 一級建築士

櫻井 淳（78期）

〒231-0005
横浜市中区本町5-49本町ビル407
TEL:045-663-9271
FAX:045-663-9273
E-mail: spajun@bk.ij4u.or.jp
Web Site: <http://www.j-sakurai.jp/>

弁護士 齊藤 英彦（69期）

〒160-0022
東京都新宿区新宿1丁目3番8号
YKB 新宿御苑 804号室
電話 (03)3356-6677 番
FAX (03)3356-6678 番

と思いますが、NHKスペシャルドラマ“坂の上の雲”では、秋山好古が、最初 官費で学べる師範学校（大阪）へ行き、小学校校長を経て、陸軍士官学校に入ることが描かれています。明治5年にできた師範学校の第一号（東京）（宮立学校の第一号でもある）は、後に東京師範学校→高等師範学校→東京高等師範学校→東京文理科大学を経て、第二次世界大戦後 東京教育大学となりました。東教大は、1973年に筑波大学になり、私は1978年入学の第5期生です。東京の師範学校は、徳川幕府の昌平坂学問所（昌平黌）の跡地（現在の湯島聖堂。湯島聖堂には、<近代教育発祥の地>という説明板がある）に作られ、国学の流れを組む学校として展開しました。同様に昌平坂学問所（昌平黌）の跡地につくられた、徳川幕府の天文方の流れを組む開成所は、種痘所の流れを組む医学所とあわせ、洋学を輸入し日本に取り込み展開する東京帝国大学へと発展していきました。日本の精神と文化を学び育てる国学と、技術や制度を導入・発展させる洋学の両方の基礎があって、日本は壮大な叙事詩「明治時代」を書き上げました。

筑波大学の校章「五三の桐葉型」は1903年に改定された東京高等師範学校生徒徽章に始まります。この経緯については「教育尊重の意味にして宮内省より特別に許可、ただし宮中の五七

の葉を避けて、五三の桐とすることとした」と伝えられています。その校章を描く色は筑波大学になってから、イメージを統一しアイデンティティーを形成するために、「筑波紫」と定められました。校章やスクールカラーというものは、つまり、深い意味をもっているのですね。

安積高校の旧制中学から続く応援歌の中には、旧制高校から‘頂いた’（悪く言えばパクリ…）ものがいくつかあります。昔は、(旧制) 中学で学ぶ、(旧制) 高校で学ぶ、(旧制) 大学で学ぶ、ということは大変なことで憧れであった。そんなこんなで、‘礎かたき学び舎’である安積のスクールカラーが紫になったのでしょうか。いつ、誰が決めたのかは、残念ながらわかりませんが、私はそのような見解を持つにいたっております。

安積の校章は「フロンティアスピリッツ」を、スクールカラーは「高貴さ」を表しています。生徒さん達には、安積で学ぶことの意義と意味を知り、自分を鍛え磨いて欲しい、と願っています。それでは！”。

ちょっと私自身の宣伝も…でしたが（すみません）、東京桑野会の皆様もご笑覧下さいませ。っとここまで書いていて思い出した。朝河貫一氏がエール大学で博士号を取得したのが、『大化の改新の研究（英文）』であった。この中で、冠位七色十三階はどのように書かれていたのだろうか。うーむ、矢吹晋先生に聞いてみよう。それより、原本を自分で調べろ、って、か（笑）。《笑ってごまかせ！←91期3年6組駒田学級のモットーです、ハイ…》。（財団法人中央研究所上席研究員〈兼〉東北大学大学院客員教授）



緑滴る初夏の磐梯山
（中瀬沼より）
画：梅田秀男（73期）

会費納入のお願い

東京桑野会の活動は会員の皆様の会費によって支えられています。会報の作成・送付も会費が頼りです。東京桑野会の健全な財務状態を維持するためにも会費納入をお願い致します。

協賛広告のお願い

東京桑野会会報は、五千数百部を発行し、母校・安積高校や福島県立図書館などにも納入されております。“安積卒業生の心意気”を協賛広告で示してみませんか。お問い合わせは事務局まで。

東京桑野会役員名簿 平成 22 年 4 月 1 日現在

□役員

役 職	氏 名	期	勤務先・自宅住所	電 話
会 長	古川 清	63		
副会長	大津 隆	63		
副会長兼 幹事長	斉藤 英彦	69		
副会長	増子 邦雄	71		
副会長	高松 豊	74		
副会長	浅川 章	76		
副会長	和田 正哉	77		
副会長	櫻井 淳	78		
副会長	上石 利男	80		
副会長	渡邊龍一郎	81		
副幹事長	椎野 靖啓	78		
副幹事長	宗像 良保	78		
副幹事長	丹治 則男	81		
副幹事長	小林 伸久	84		
副幹事長	村上 昌弘	85		
副幹事長	坂本 浩一	86		
副幹事長	芳賀 雅美	86		
副幹事長	渡辺 政信	88		
副幹事長	大矢 真弘	88		
副幹事長	鈴木 修一	89		
副幹事長	渡部 良朋	91		
会計監査	大内 博文	71		
会計監査	関根 健治	73		

役 職	氏 名	期	勤務先・自宅住所	電 話
顧 問	高瀬 禮二	46		
顧 問	竹花 則栄	55		
顧 問	小浜 精吾	58		

□幹事

役 職	氏 名	期	勤務先・自宅住所	電 話
幹 事	撞井 保夫	51		
幹 事	佐久間盛政	54		
幹 事	石川 衛三	57		
幹 事	池田 和男	58		
幹 事	小針 久	59/ 60		
幹 事	佐藤 啓	61/ 62		
幹 事	村山 俊司	61/ 62		
幹 事	鶴沼 直雄	63		
幹 事	谷本 泓朗	63		
幹 事	渡部 喬一	64		
幹 事	本田 保夫	64		
幹 事	佐藤 司	64		
幹 事	伊藤 巖	65		
幹 事	清治 和昭	66		
幹 事	橋本大三郎	66		
幹 事	横尾 稔	66		
幹 事	遠藤 修	67		
幹 事	伊藤 泰昭	68		
幹 事	青山 掌三	68		
幹 事	有我 政彦	68		
幹 事	清治 武光	68		

役職	氏名	期	勤務先・自宅住所	電話
幹事	佐藤 廣	69		
幹事	近内 靖夫	69		
幹事	石井 敬治	70		
幹事	矢吹 晋	70		
幹事	渡辺 哲弥	70		
幹事	武藤 勇司	71		
幹事	大和田允彦	71		
幹事	遠藤征志郎	72		
幹事	遠藤 宏司	72		
幹事	武藤 一駿	74		
幹事	伊豆 秀雄	74		
幹事	今川 直人	75		
幹事	柳田 力	75		
幹事	満井 和正	76		
幹事	草野 幸次	77		
幹事	大竹 英雄	79		
幹事	山元 紀美	79		
幹事	安部 直文	80		
幹事	斎藤 誠	81		
幹事	石井 俊一	82		
幹事	古川 清志	82		
幹事	永山 幸男	82		
幹事	渡辺真佐夫	84		

役職	氏名	期	勤務先・自宅住所	電話
幹事	境 君夫	85		
幹事	本田 宏	86		
幹事	坂路 誠	87		
幹事	富塚 弘之	87		
幹事	有我 明則	90		
幹事	秋山 茂雄	91		
幹事	田原 美郷	91		
幹事	増子 浩重	92		
幹事	斎藤 宏海	93		
幹事	鎌田 光明	94		
幹事	藤田 健彦	96		
幹事	佐藤 厚	97		
幹事	小野崎 敦	97		
幹事	宗像 孝	98		
幹事	御代田邦英	100		
幹事	葛西 正輝	102		
幹事	小林 弘典	103		
幹事	土田 隆弘	105		
幹事	加藤 祐一	105		
幹事	柳田 良幸	106		
幹事	後藤 大	107		

編集後記

○【挿絵のこと】今回の挿絵は、みなさん良くご存じの、元母校校長 梅田秀男先生です。梅田先生（先輩）にお願いを致しました経緯を少し…。

ご存じの方も多いと思いますが、母校のバルコニーのある校舎の2教室が昨年8月、創立125周年を期にギャラリーに改装されました。今では着実に安積歴史博物館としてその名が広まっているとお聞きしますが、更に多くの方々のご来館を頂きたくと館スタッフの一人75期の村田英男さん達の発案により実現したとのことでした。この機会に卒業生のアーティストに呼びかけ、OB展をとの企画が持ち上がり33名が参加して、125周年・安積博ギャラリーオープン記念展が開かれました。OB展実務には75期熊田喜宣さん（福大教授）が担当されました。

OB展には、母校バルコニーの正面を表現された“梅田先生”の作品があり「これだ」と私は直感しました。梅田先生は頑に「まだ絵をはじめたばかり」と躊躇されましたが、さすが私たちの先輩「お役に立てれば」と作品を5点送って頂きました。梅田先生は73期、私が74期、村田さん熊田さんは75期。ありし日の3年2年1年の生徒の奇しくも共働の結果となりました。（高松ゆたか）

○今年は天候が寒暖の差が激しく、体調に気をつけないと。年度末、仕事がバタバタで編集会議は、インターネットで参加。先日78期は福島県立医理事長・学長の同期、菊池臣一君を「鞍手茶屋」で囲んで、「腰痛の常識に疑問」の講演会、久々に18人も集まりました。総会もこの位78期が来てくれるといいのだけれど。彼は、脊椎外科ではゴットハンドとして世界的に有名で、来年の会報に原稿依頼をしました。（櫻井淳）

○私事であるが昨年11月に両眼の白内障手術をした。加齢による視覚疾患は、緑内障・網膜症・変性近視・黄斑変性・白内障の5つで75%を占める。50歳台の50%、60歳台の70%、70歳台の95%の人が加齢による視覚疾患を持ち、自覚症状に乏しいため手遅れになるケースが多いと言う。早めの眼科検診をしたい。新年早々、安積の大先輩の訃報を聞いた。眼科医の権威である今泉亀撤氏（38期）が、102歳での大往生。日本で最初の角膜移植を成功させた、日本の臓器移植医のパイオニアである。健康な視力は生活の質を高める。質の高い高齢社会を暮らすことが、幸せな終末期の人生を迎えられる。今泉氏の高徳に感謝したい。

（がっちゃん）

○スクールカラーについて、母校生徒会とのやり取りの、その後日談を。母校生徒会にメールを送った後、紫をスクールカラーにする旧制第一中学校ではどこがあるかな、と思ってネットサーフィンを試してみた。東北では、秋田高校がそうだった。全国では…、広島国泰寺高校がそうだった。そしたら、広島国泰寺高校の第一応援歌が「紫の旗」。んっ、歌詞は？ 1. 紫の旗往くところ月の夜の桂を折らん 何事ぞ身の程知らで とつ我に射向かふ彼等 2. 蹴れば勝つ鯉城の歴史 昇る日の光にみつる そそり立つ小富士ヶ峰に 雄々しく立つ野辺のすめらぎ

なんだこれは？さらに、別の応援歌（敗歌）が「磐梯山」という名称。広島県には磐梯山はない。歌詞は、1番. 磐梯山の 血叫びか 十字軍の 旗風か 泣かず飛ばずの古を 想いて今日は 落涙の 玉散る波に雨そそぐ ああ愛校の 血潮みる ああ多恨の 我らが血の涙

いったい明治や大正の時代に何が あったんだ？ （GF91）

事務局便り

【事務局からのお願い】会報の発送は、会員各位の住所動向に大きく左右されてしまいます。住所が変わっていると、折角の会報も戻ってきてきませんので、住所変更の際は東京桑野会の事務局まで、ご連絡下さいますようお願い申し上げます（東京桑野会ホームページにも連絡先を表示しております）。安積桑野会の方にご連絡された方も、ご面倒でも東京桑野会の方にもご連絡下さい。

【ゴルフ同好会】平成21年度懇親ゴルフ会は7月28日（火）、「よみうりゴルフ倶楽部」、11名の参加を得て開催しました。古川会長が都合により急遽参加でませんでしたが無事終了しました。ベストグロス70期古屋さんの82、優勝は新ペリアで82期渡辺さんのネット72.6でした。平成22年も7～8月にかけて開催予定です。若手ゴルフ愛好者にとって平日プレーは参加しにくいとの声もありますので希望者有れば別途休日開催も検討します。費用の面より割安な千葉・茨城・埼玉など若干遠方になりますが事務局または71期大内まで連絡願います。（ゴルフ同好会幹事 大内博文 ohuchi@extra.ocn.ne.jp TEL044-955-4726）

『東京桑野会会報』No.32

2010年4月1日発行

発行・編集人●古川 清

発行所●東京桑野会

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-3-8

YKB新宿御苑804

斉藤法律事務所気付

Tel03-3356-6677 Fax03-3356-6678

E-mail info@tokyo-kuwano.com

URL http://www.tokyo-kuwano.com/

製作●株式会社キタジマ

〒130-0023 東京都墨田区立川2-11-7

Tel03-3635-4510 Fax03-3635-4515
